

主体的に情報を選択・活用・発信する力を高めるための指導の在り方

日立市立榎形小学校

1 はじめに

総合的な学習の時間では、感性や判断力、創造性、社会性、表現力などの育成を目標としている。そのなかでも、自分で課題を見付け、自ら考え、主体的に判断し、様々な方法で収集した情報を選択・活用・発信する力を高めたいと考えこのテーマを設定した。

2 指導内容

(1) 単元 十王の自然とわたしたち—十王川—

(2) 目標

○ホテルをはじめとする水生生物やビオトープについて関心をもち、進んで調べることができる。 (関心・意欲・態度①)

○主体的に課題を設定し、書籍やインターネットを活用して必要な情報を収集・選択するなどして課題を解決することができる。 (学び方・考え方②)

○水生生物やビオトープなどについて分かったことを分かりやすくまとめたり、伝えたりすることができる。 (表現力③)

○ビオトープの環境や十王川を守っていくことの大切さに気づくことができる。 (自己の生き方を考える④)

(3) 単元について

① 児童観

(令和元年 5月31日 34人)

いぶきの学習は好きですか。	はい 29人	いいえ 5人
本を使っての調べ学習は好きですか。	はい 24人	いいえ 10人
ホテルなどの水生生物を見たことがありますか。	はい 15人	いいえ 19人
調べたことをどんなことにまとめたいですか。	パソコン20人、模造紙11人、ペープサート1人、本1人、紙芝居1人	

児童は、3年生の総合的な学習の時間で、「十王町マスターになろう—地域の仕事—」というテーマの十王町探検や職場見学・体験などを通して、十王町には豊かな自然があり、そこで仕事をしている人々がおり、地域のよさや働く人々の

すばらしさについて学習し、調べたことを模造紙などにグループごとにまとめた。自然には触れているが、十王川やビオトープを観察したことがある児童は少なく、水生生物を見たことのない児童も多い。

② 教材観

本単元では、身近な水生生物、特にホタルやカワニナ、タニシを中心に上げる。十王川やビオトープには様々な水生生物が生息している。しかし、それらの場所について遊びに行ったり、観察したりしていない児童にとって詳しくは知らない場所であり、水生生物についても知らないことが予想される。ホタルの飼育やビオトープの観察をしたり、十王川での活動を見たりすることを通して、ビオトープの環境や水生生物に関心を持ち、水生生物が多く棲むビオトープにしていこうとする気持ちをもつことができると考える。

③ 指導観

水生生物についての知識をはっきりさせ、テーマ設定に結びつけるためにビオトープで見たことのある生物について学習する。実際にホタルの幼虫を飼育し、ビオトープに放し成長を見守るようにする。各自で深く調べたい学習の課題を設定し、グループ作りを行う。調べ学習では書籍だけでなく、インターネットも活用して課題に迫っていきけるようにする。また、高学年でのプレゼンテーションソフトを活用した発表の初期段階として、絵や写真を活用したプレゼンテーションソフトを使っての発表を行う。

(4) 指導計画 (26 時間扱い・・・本時第 3 次第 10 時)

時間	主な学習活動・内容	評価規準
つかむ 第 1 次 2 時間	○オリエンテーション ○ビオトープを見に行こう	・十王川やビオトープにいる水生生物について関心を持ち、水生生物マップづくりに進んで取り組んでいる。 ① (ワークシート・発言・観察)
活動する 調べる 第 2 次	○水生生物について調べよう。 (図書・観察・インターネット) ○ホタルの観察	・水生生物について図書やインターネットなど様々な方法で情報を収集することができる。 ② (学習カード・観察)

12時間	○ビオトープの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープに水生生物が戻ってくるができるように、進んでビオトープの整備を行っている。 ①（学習カード・観察） ・ビオトープの環境や十王川を守っていくことの大切さに気づくことができる。④（学習カード・観察）
広げる まとめる 第3次 12時間	○発表会の準備・練習をする。（本時） ○いぶき発表会 ○まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことの中からもっと詳しく調べ、発表したこと決定し、発表の内容を考えて準備しようとする。②（発言・観察） ・収集した情報を整理して、分かりやすくまとめて発表しようとする。③（発表資料・観察）

(5) 本時の指導

① 目 標 発表の仕方や内容が聞き手にとって分かりやすいものになるように、グループで相談しながら工夫して活動することができる。

② 準備・資料 パソコン ホワイトボード 掲示用カード

③ 展開 ☆言語活動を充実させるための手立て

学習活動・内容	指導・支援の手立てと評価（○・・・評価）
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表会に向けて、発表が伝わりやすいか考えながらハーサルをしよう。</p> </div> <p>2 「伝わりやすい」発表とはどんな発表か話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し方 ・相手を意識する ・声の大きさ ・絵や写真を活用する <p>3 3つのグループに分かれ、発表練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループに対し改善点をアドバイスする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに作成してきたプレゼンテーションをもとに発表練習することを確認する。 ・他教科で行ってきた発表の仕方を確認し、相手に伝わりやすい発表を心がけるようにする。 <p>☆伝わりやすい発表になっているか意識しながら聞き合い、そのつどアドバイスをしていくように助言する。</p> <p>○聞き手に伝わりやすい発表になるように、グループで相談して発表方法を工夫することができる。③ワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループを回りながら、目線や声などを意

<p>4 各班のよかったところを全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンが分かりやすかった。 ・聞きやすい速さと声の大きさだった。 ・聞く人を見ながら発表できていた。 <p>5 本時の学習を振り返り，次時の学習を確認する。</p>	<p>識して練習できるように声かけをする。</p> <p>☆検討したよかったところはカードに書き出し，後の活動にも意識する視点として残せるようにする。</p> <p>・本時ではプレゼンの修正は行わず，次時で各班ごとにプレゼンの内容や発表の最終調整を行うことを伝え，焦らず改善していくようにする。</p>
---	---

ホタルの幼虫をビオトープに放す様子



3 成果と課題

幼虫からホタルの飼育をしたことでホタルの育つ環境に興味をもち，調べ学習に取り組むことができた。ビオトープに幼虫を放したことで自然に近い環境となり，成虫へ育つホタルが昨年より増えた。さらに，プレゼンテーションソフトを活用し，写真や動画を入れることで発表が伝わりやすくなることを児童が実感することができた。また，模造紙など紙媒体でまとめるよりも，スクリーンに大きく映し出すことで見やすくなったため，発表後の質疑応答が活発になった。

ホタルが成虫になったことを昼間に確認することが難しかった。今年度初めてプレゼンテーションソフトを使用したため，慣れるまでに時間がかかりまとめるまでの時間がかかった。